

立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」
2021 年度第 4 期 助成事業報告書

団体名：NPO 法人フェロージョブステーション

1. 振り返りエッセイ

- 枠の大きさは規定のものから変更せず、その中に収まる分量でお願いします。
- こちらの文章は提出後、アカツキ Web サイトにて公開致します。
- 必ず、「振り返りインタビュー」実施後に記入してください。

AKBN ファンドを活用した「立ち止まり対話する」取り組みについて、いつ何を行ったか・どのようなことが起きたか・メンバーの誰がどう発言したか等について、自由な形式で作文してください。なお、書き方に特に形式の指定はなく、「エッセイ」のようなイメージとしています。

昨年 10 月のとある日、私たちは 1 泊 2 日の合宿研修に向かった。普段の私たちは現場の対応や目の前の仕事にいっぱいいっぱい、先の将来を考える事になかなか時間を費やすことが出来ていない。目の前の仕事を忘れて、みんなで共に過ごし語り合うことにとことん集中する 2 日間。その時間をつくることで、組織として新しい一歩を踏み出したい。そんな思いから、経営陣で何度も話し合いを重ね準備をしてきた。研修の内容としては、同じ教材を用いて学んだあとに全体で意見交換をしたり、エンゲージメントカードと呼ばれるツールを使ってお互いの価値観を理解したり、来期の方針を考える上で一人ひとりの現状を共有したり…。盛りだくさんなスケジュールの中で、段々と本音が聞ける場面が増えていった。

「本当はこんなことに挑戦したいんだ」と、勇気を出して宣言するメンバーもいた。「自分はリーダーとして役不足なんじゃないか」と、不安を打ち明け涙する役職者もいた。共に働いていると言ってもお互いに状況や立場が違い、悩みも人それぞれ。毎日顔を合わせていたはずの仲間だったが、まだまだ本当の一人ひとりを知らない。心の奥底に抱えている想いにお互い気付くことができ、その後 2 月に行った方針発表会で、それぞれが与えられた持ち場で自分にできることを真剣に発表するその表情が印象的だった。

今回、「立ち止まり対話する」キッカケをもらえたからできたこと。これを良い機会だったと終わらせず、これからも自分達の力で続けていけることが私たちへの宿題だと思っている。乗り越える障壁はあっても、私たちの組織は全員が「幸せにむかって前に進みたい」と願っている。それを知れた機会に心から感謝する。

2. 支出報告書

■領収書ほか会計証憑書類の添付、当初予算からの残額の返金は不要です。

■枠の大きさは必要に応じて増減して構いません。

■こちらは「振り返りインタビュー」実施前に記入されても構いません。

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
<input type="checkbox"/> 本助成金	AKBN ファンド「想いと向き合う」	200,000 円
<input type="checkbox"/> その他	自己負担金	2,565 円
費目	対象・使途・目的・内訳（具体的な詳細を記入）	金額
<input type="checkbox"/> 人件費	【人件費】プロジェクト管理、研修運営補助 1 名分	24,000 円
	【諸謝金】合宿研修講師謝金（2 日間分 ※旅費込み）	100,000 円
<input type="checkbox"/> 賃借料	合宿研修における宿泊及び会場費／久万・五右衛門ハウス	36,000 円
<input type="checkbox"/> 飲食費	プロジェクトに伴う飲料やお茶菓子代	26,915 円
<input type="checkbox"/> 消耗品費		
<input type="checkbox"/> 交通宿泊費		
<input type="checkbox"/> 印刷製本費		
<input type="checkbox"/> 通信運搬費		
<input type="checkbox"/> その他	教材購入費（エンゲージメントカード@5 セット）	15,650 円
<input type="checkbox"/> 未使用残額		
合計金額		202,565 円

3. 助成プログラムへのフィードバック

■AKBN ファンドに対する評価・疑問・要望・期待等を記載ください。

振り返りインタビューの手法含め、とても新鮮な助成プログラムでした。

「組織は人」だということを改めて実感できる機会となり、このように形のないものに助成してくれるプログラムがあることをとてもありがたく感じました。

今後もこのご縁が続いていくことを願っています。ありがとうございました。